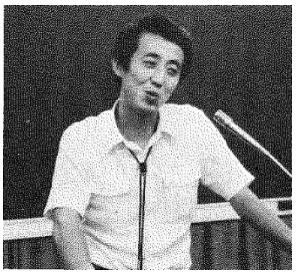
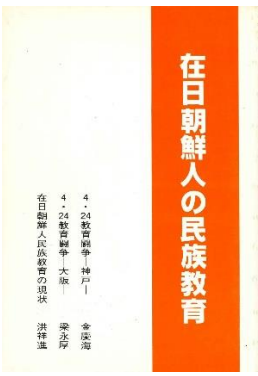
洪祥進さんを偲んで　飛田雄一

（『むくげ通信』316 号（2023.1.29）より）





1981 年、講演会での洪祥進さん／その講演録

洪祥進さんが昨年 12 月 31 日、肺炎で亡くなった。洪さんは私と同じ年でショックだ。洪さんは、金慶海さん、徐根植さんとともに兵庫朝鮮関係研究会を立ち上げたひとりだ。

洪さんは、1950 年 9 月 16 日、兵庫県尼崎市に生まれた。朝鮮大学を卒業後、75 年から東神戸朝鮮初中級学校、尼崎朝鮮初中級学校等で 15 年間、教員を務めた。78 年から 5 年間、京都大学教育学部比較教育学講座に所属した。90 年、朝鮮人強制連行真相調査団朝鮮人側中央本部事務局長に就任した。92 年以降、過去の日本植民地支配下で朝鮮人に加えられた抑圧・差別を重大な人権侵害として位直づけ、国連人権委員会などに 17 回参加し、日本軍「慰安婦」問題や強制労働に関する決議を引き出した。2003 年、強制連行者名簿を南北朝鮮で公開した。

真相調査団事務局長就任について、『在日二世の記憶』（2018 年 11 月、集英社）のインタビューで以下のように話している。

●

「兵朝研」のメンバーとともに地元の強制連行の調査に取り組んでいた時期のことです。1990 年に朝鮮人強制連行真相調査団中央本部が結成されました。わたしは専従の朝鮮人側事務局長に就くことになりました。その当時わたしは 40 歳で、3 人の娘がいました。子どもたちはまだ幼く朝鮮学校の初級部や幼椎班に通っていたころです。中央本部は東京にあるので単身赴任になりました。1 ヶ月から 3 ケ月の予定だったのが以降、20 年が経ちました。（略）

90 年代に入って朝・日関係改善のため朝鮮労働党、日本社会党、自由民主党との三党共同宣言が発表されました。また南では長く続いた軍事独裁政権から民主化運動が広がり、個人に対する補償の見直し、強制連行を行った日本の企業に対する訴訟が相次ぎました。95 年の戦後 50 周年を控え、朝・日間でも植民地支配の清算と戦後補償についての見直しが焦点となりました。

70 年代の活動を引き継ぎ、新たな段階へと活動を展開させようと、90 年に朝鮮人側の中央本部が発足しました。日本人側は全国協議会という体系で組織されました。以降、日本各地の 25 都道府県に朝・日合同真相調査団が結成され、日本人側調査団は学者、弁護士、教員、市民など、朝鮮人側は総連各都道府県本部が中心となって活動を展開しました。

●

私は、洪さんの結婚式に参加している。そのときびっくりしたことがある。確か生野区民センターの 2 階と 3 階を貸し切って開かれたと思う。メイン会場が 3 階で、私はまあ 2 階だろうとそこにいた。しばらくして、友人が「飛田さん 3 階にきてください」という。行ってみると、3 階のテーブルがだいぶ空席になっている。朝鮮人の結婚式は「披露宴の掲示があればだれが行ってもいい」と聞いていたがそうだったようだ。料理がひととおりでると、退席した参加者がたくさんいたのだ。その後も祝宴は続いた。いまは、そんな朝鮮人の結婚式もないのではないだろうか。

●

学生センターの朝鮮史セミナーでは、1981 年 4～6 月、「在日朝鮮人の民族教育」をテーマに講演会があった。3 名のシリーズで、金慶海、洪祥進、梁永厚の 3 名。洪さんのテーマは「在日朝鮮人民族教育の現状」。出版後、ややこしい問題があっ

た。梁永厚さんが、北朝鮮の民主化を求める活動を始めたとき、その梁永厚といっしょに本をだすとはなにごとだ、となった。洪さんは、本は学生センターが勝手に出したもので・・・、と切り抜けたと後に聞いた。在日本朝鮮人総聯合会の活動家であったので、そのようなことあったのではと思う。

●

洪さんは、1979 年発行の『在日朝鮮人史研究』5 号に、中島知子さんとふたりで「日本の学校に子どもを通わせている在日朝鮮人父母の教育観に関する調査（1）」を発表して注目された。その（2）は、1980 年 10 月の 7 号に掲載された。このテーマでの先駆的な業績だ。最初に紹介した洪さんの経歴の「78 年から 5 年間、京都大学教育学部比較教育学講座」での研究成果だ。

1990 年には明石書店から『在日韓国・朝鮮人の民族教育意識－日本の学校に子を通わせている父母の調査』として出版された。

その他の業績については、不充分な目録であるが右の洪祥進さんの論文等目録をご覧いただきたい。

●

1 月 4 日にお通夜、5 日に葬儀は行われた。私はお通夜に出席した。喪主は奥さまの文圭生さん。多くの友人らが出席したお通夜であった。文さんのあいさつ文を再録する。

夫 洪 祥進が家族の胸にたくさんの心温まる面影を残して満七十二歳にて眠りについてしまいました。別れを迎えるには少し早いと思うと寂しさは募りますが、夫が残してくれた多くの想い出や語り尽くせないほどの感謝と労いの気持ちを捧げて新たな旅立ちを見送ります。皆様方には長年にわたり楽しい時間を過ごさせていただいて心より深く感謝申し上げます。きっと故人も今頃はあなたさまの優しいお心に喜んでいることと思います。なお今後とも私ども遺族に故人存命中と変わりないご掌情を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

●

洪さんのも娘さんに、むくげの会ゲストディに来ていただいたこともある。楽しい時間だった。

私は洪さんの 4 か月だけ早生まれ。まったく同じ時代を生きた。強制連行問題等、多くの出会い／共通点があった。さびしい別れとなった。ご冥福をお祈りします。

＜洪祥進・著作目録＞

1. 鉱山と朝鮮人強制連行　金慶海・徐根植らと 明石書店 1987
2. 4・24 阪神教育闘争－民族教育を守った人々の記録 4・24 を記録する会 編著 ブレーンセンター 1988
3. 地下工場と朝鮮人強制連行　金慶海・徐根植らと 明石書店 1990
4. 「従軍慰安婦」と歴史の教訓　森田三男, 洪祥進共著 「朝鮮問題」懇話会 1995（「朝鮮問題」学習・研究シリーズ, 第 49 号）
5. 朝鮮人強制連行・強制労働の全容解明に向けて（日本の過去の清算を求めるアジア地域シンポジウム）統一評論 442 2002-07
6. 朝鮮人強制連行の概念－日弁連勧告から（特集 戦争と疾病）戦争責任研究 39 2003-00
7. 朝鮮人強制連行の概念について―日本の研究と日弁連の勧告　統一評論 457 2003-11
8. 過去の清算と真相究明　統一評論 470 2004-12
9. 日本政府による強制連行犠牲者遺骨調査の問題点と今後（日本の過去の清算を求める国際連帯協議会第三回会議）　統一評論 481 2005-11
10. 拉致問題と過去の清算－日朝交渉を進めるために 日朝国交促進国民協会 編 日朝国交促進国民協会 2006
11. 北海道強制連行犠牲者の名簿の分析－日本政府の調査の問題点と今後（朝鮮人強制連行犠牲者の名簿公開）　統一評論 489 2006-07
12. 朝鮮人強制連行犠牲者名簿公開－福岡県強制連行犠牲者名簿の分析　統一評論 490
13. 関東大震災－朝鮮人虐殺と日本の現状　進歩と改革 通号 668 2007-08
14. 一九四八年教育闘争の背景と現状　統一評論 510 2008-04
15. 韓国併合一〇〇年、ねつ造の一〇〇年　進歩と改革 通号 698 2010-02
16. 総合討論（特集 朝鮮大学校朝鮮問題研究センター付属在日朝鮮人関係資料室開設記念シンポジウム 在日朝鮮人関係資料収集保存の現況と課題）　朝鮮大学校学報 23 2013

（国会図書館図書検索などより）